

【安藤昌益研究の最前線（その17）】

---

安藤昌益の真営道医学を伝承した江戸の町医・  
川村真斎による処方収集書『真斎聚方』における  
「本草之部 附方」の処方群〔【X】＝No.210～333〕は、  
『本草綱目』の【附方】からの記載であることの考証、  
および『真斎聚方』の全体的な構成について  
——【X-7】『真斎聚方』〔No.303～321〕

〔『本草綱目』卷三十三（果部）～卷三十七（木部）〕  
——さらに、真斎の「筆写・抄出方法」から  
『真斎謄筆』と稿本『自然真営道』との  
内容的同一性について考える

和田耕作

（KOSAKU WADA）

---

◎・はじめに・◎

安藤昌益の真営道医学を継承した川村真斎（1785～1852）による処方収集書  
『真斎聚方』（内藤記念くすり博物館蔵本）は、浩瀚な著作である。

本稿では、本誌「PHN」35号に引き続いて、No.115以降の処方群と、それらに関連すると思われる『名家方選』三部作の処方群についての考証と考察を進める予定であったが、今回は、急遽予定を変更して、『真齋聚方』の「最終見出し」であるところの「本草之部 附方」〔No.210～333〕についての考証と考察を行うことにした。

「本草之部 附方」は、それまでの記述とは、大きく異なっており、その「出典」書目数も膨大であり、何による記載であるのかが、これまで不明であった。それは、『真齋聚方』における「最後の難関」と思われた。

しかし、実際に調査をしてみると、この問題は、意外にもすぐさま解決したのである。すなわち、「本草之部 附方」は、『本草綱目』の【附方】などからの記載であることが、このたび明らかとなった。

『本草綱目』は、各薬物などを、  
【積名】【集解】【正誤】【修治】【気味】【主治】【発明】【附方】  
の八項目にわけて記述している。

真齋は、最後の【附方】の処方群の中からを選んで記載していることが明らかになった。一部には、【発明】や【修治】の項目からも記載しているところもある。

『真齋聚方』「本草之部 附方」には、『本草綱目』の書名も、処方のある巻数や「薬物名」などの項目も記されていない。したがって、本稿では【附方】などのある『本草綱目』の巻数や分類項目、さらには「薬物名」などをも示して、『真齋聚方』「本草之部 附方」の内容構成が明確となるように記述することとした。

今回は、その第7回目であり、【X-7】『真齋聚方』〔No.303～321〕  
まで、すなわち、『本草綱目』の卷三十三〔果部〕～卷三十七〔木部〕に相当する部分である。

なお、一部に『本草綱目』（卷四）「百病主治薬・下」〔眼目〕からの記載がみられる。

---

## ◎・『真齋聚方』の全体的構成について・◎

このたび、「本草之部 附方」の「出典」が判明したことにより、『真齋聚方』の全体的な構成を、次のように把握することができるようになった。

▼〔第一部〕・・・『真齋聚方』・「第一編」▼

・『真齋聚方』〔No.1～36〕

・この巻頭部分は、『類聚方集覧』などから記載によるものであり、おもに『真齋方記』へと増補されるところのものである。

〔『PHN』32号（2018年8月号）を参照〕

▼〔第二部〕・・・『真齋聚方』・「第二編」▼

・『真齋聚方』〔「A」=No.37～115〕+〔「B」=No.116～209〕

・次は、各医書群と『名家方選』三部作からの処方群である。

〔「A」については、『PHN』33号（2018年9月号）～35号（2018年11月号）を参照。〕

〔「B」については、今後、考証の予定であるが、その一部である安藤昌益と山脇東洋の処方群については、『PHN』30号（2018年4月号）・31号（2018年5月号）を参照のこと。〕

・この「第二編」については、考証をさらに進めた上で、その構成について再考する予定である。

▼〔第三部〕・・・『真齋聚方』・「第三編」▼

・『真齋聚方』「本草之部 附方」〔第三部〕の構成

〔「A」=No.210～287〕（『本草綱目』【附方】などによる記載）

+〔「B」=No.287～299〕・【『本草綱目』以外の書物の処方群】・

+〔「C」=No.299～321〕（『本草綱目』【附方】などによる記載）

+〔「D」=No.321～333〕（『本草綱目』【附方】などによる記載）

・『真齋聚方』の「第三編」と言える「本草之部 附方」は、このたび『本草綱目』【附方】などからの記載であることが明らかになったのである。

・『真齋聚方』の「本草之部 附方」は、分量的には、『真齋聚方』の中の三分の一を超えており、上記の「第一編」と「第二編」を合わせて、仮に『真齋聚方』の「前編」とすれば、明らかに『真齋聚方』の「後編」と呼んでよいものである。

・しかし、前回（6回目）初めて明らかになったのは、『真齋聚方』

〔「B」=No.287～299〕の存在である。この部分は、『本草綱目』

以外の書物から記載した処方であることが、明らかとなった。

〔「A」については、『PHN』36号（2019年1月号）～『PHN』41号（2019年6月号）を参照のこと〕

〔「B」については、『PHN』41号（2019年6月号）を参照のこと〕

〔「C」については、『PHN』41号（2019年6月号）～『PHN』42号（2019年7月号）を参照のこと〕

〔「D」については、今後、考証の予定である。〕

---

●・【出典】の考証のための文献一覧・●

- ・『新註校定・国譯本草綱目』（第九冊）〔果部・木部〕  
（昭和50年11月、新註増補版、春陽堂書店刊）〔和田文庫蔵〕  
〔以下、『国訳本草綱目』（第九冊）と略記する。〕
- ・『新註校定・国譯本草綱目』（第二冊）〔百病主治・上下〕  
（昭和48年5月、新註増補版、春陽堂書店刊）〔和田文庫蔵〕  
〔以下、『国訳本草綱目』（第二冊）と略記する。〕
- ・〔明〕李時珍『本草綱目』（全二冊）  
（1986年5月、商務印書館香港分館刊）〔和田文庫蔵〕
- ・『補註・本草綱目』（上巻、多紀安元遺稿、多紀鶴郎・永島忠共纂）  
（大正四年十月、半田屋医籍商店刊）〔和田文庫蔵〕
- ・『補註・本草綱目』（下巻ノ一、多紀安元遺稿、多紀鶴郎・永島忠共纂）  
（大正五年十一月、半田屋医籍商店刊）〔和田文庫蔵〕

---

▼凡例▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○〔金〕○・・・・・・・・。。。。〔『本草綱目』の薬物名〕

【附方】・・・・・・（No.210）。。。。〔『真斎聚方』におけるNo.]

〔1/5〕。。。〔『本草綱目』の5処方の中の1処方を記載]

・「怪粉破口」・・・・・・。「外台」〔A〕〔外台秘要〕〔B]

〔A〕＝『真斎聚方』における略書名。

〔B〕＝『本草綱目』を参照したわかりやすい書名。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・「▲」は、『真斎聚方』に出典が欠落しているもの。

・「――」は、『本草綱目』に出典の記載なきもの。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

---

◎・『真斎聚方』「本草之部 附方」の処方群の「出典」

である『本草綱目』【附方】との考証と考察・◎

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼《I－A.》▼

▼『本草綱目』卷三十三「果部」・・・「果之五」（蒴類）より▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○〔甜瓜〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.1）〕・

○○〔瓜子仁〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.5）〕・

【附方】・・・・・・（No.303）〔2/3]

・①「口臭」・・・・・・・・「千金」〔千金〔方〕]

・②「腸癰已成」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵〔方〕]

○○〔瓜蒂〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.6）〕・

【附方】・・・・・・（No.303）〔2/21]

・①「湿家頭痛」・・・・・・・・「活人」〔活人書]

・②「発狂欲走」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方]

○〔沙糖〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.32）〕・

【附方】・・・・・・（No.303）〔4/6]

・①「下痢禁口」・・・・・・・・「摘玄」〔摘玄方]

・②「痘不落痂」・・・・・・・・「劉提點方]

・③「上気喘嗽」・・・・・・・・「――」

・④「食韭口臭」・・・・・・・・「摘要」〔摘要方〕

▼《Ⅰ－B.》▼

▼『本草綱目』卷三十三「果部」・・・「果之六」（水果類）より▼

○〔蓮藕〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.41）〕・

○○〔蓮実〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.45）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.303）〔2／14〕

・①「久痢禁口」・・・・・・・・「丹溪」〔丹溪心法〕

・②「反胃吐食」・・・・・・・・「直指」〔直指方〕

○○〔藕〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.49）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.303）〔3／10〕

・①「食蟹中毒」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

・②「凍脚裂坼」・・・・・・・・「——」

・③「塵芒入目」・・・・・・・・「普濟」〔普濟方〕

○○〔蓮莖鬚〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.54）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.303）〔1／1〕

・①「久近痔漏」・・・・・・・・「集効」〔集効方〕

○○〔荷葉〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.57）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.304）〔2／26〕

・①「脚膝浮腫」・・・・・・・・「永類」〔永類方〕

・②「偏頭風痛」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕

○〔烏芋〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.72）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.304）〔2／5〕

- ・①「小児口瘡」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・②「誤吞銅錢」・・・・・・・・「百一」〔百一選方〕

●【考察1】●

- ・各処方とも、原文どおりの記載である。

▼《Ⅱ.》▼

▼『本草綱目』卷三十四「木部」・・・「木之一」（香木類）より▼

○〔柏〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.87）〕・

○○〔葉〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.92）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.304）〔8／19〕

- ・①「虫痢下血」・・・・・・・・「図経」
- ・②「小児洞痢」・・・・・・・・「経験」〔経験方〕
- ・③「月水不断」・・・・・・・・「聖濟」〔聖濟総録〕
- ・④「湯火焼灼」・・・・・・・・「図経」〔本草図経〕
- ・⑤「鼠瘻核痛」・・・・・・・・「集験」〔集験方〕
- ・⑥「大風痼疾」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕
- ・⑦「頭髮不生」・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕
- ・⑧「頭髮黄赤」・・・・・・・・「聖恵」

○〔松〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.98）〕・

○○〔松脂〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.101）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.304）〔2／24〕

- ・①「齲齒有孔」・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕
- ・②「久聾不聴」・・・・・・・・「梅師」

○○〔松葉〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.109）〕・

【附方】・・・・・・（No.304～305）〔3／9〕

- ・①「天行瘟疫」・・・・・・「類要」〔傷寒類要〕
- ・②「三年中風」・・・・・・「千金」〔千金方〕
- ・③「歷節風痛」・・・・・・「千金」

○〔杉〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.113）〕・

○○〔杉材〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.114）〕・

【附方】・・・・・・（No.305）〔1／4〕

- ・①「臙瘡黒爛」・・・・・・「救急」〔救急方〕

○〔桂・牡桂〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.116）〕・

○○〔牡桂〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.128）〕・

【附方】・・・・・・（No.305）〔5／32〕

- ・①「死胎不下」・・・・・・「何氏」〔何氏方〕
- ・②「九種心痛」・・・・・・「聖恵方」〔外台秘要〕
  - ・『本草綱目』では、②、①の順番である。
- ・③「小兒遺尿」・・・・・・「外台」〔外台秘要〕
- ・④「乳癰腫痛」・・・・・・「肘后」〔肘後方〕
- ・⑤「中鉤吻毒」、「解芫青毒」・・・・・・「——」

○〔沈香〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.151）〕・

【附方】・・・・・・（No.305）〔3／7〕

- ・①「胃冷久呃」・・・・・・「心鏡〔統〕」〔活人心統〕
- ・②「胞転不通」・・・・・・「元戎」〔医壘元戎〕
- ・③「痘瘡黒陷」・・・・・・「鮮手」〔鮮手〔于〕枢鉤玄〕
  - ・『国訳本草綱目』では、「鮮于枢鉤玄」とある。
  - ・『補註・本草綱目』では、「鮮手枢鉤玄」とある。

○〔丁香〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.162）〕・

○○〔丁香〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.167）〕・

- ・①「反胃闕格」．．．．．「經驗」〔經驗方〕
- ・②「傷寒呃逆」．．．．．「濟衆」〔濟衆方〕
- ・③「婦人產難」．．．．．「經驗」
- ・④「婦人陰冷」．．．．．「衍義」〔本草衍義〕
- ・⑤「鼻中息肉」．．．．．「聖惠」〔聖惠方〕
- ・⑥「風牙宣露」．．．．．「聖濟」〔聖濟總錄〕
- ・⑦「齟齬黑臭」．．．．．「外台」〔外台秘要〕
- ・⑧「唇舌生瘡」．．．．．「外台」
- ・⑨「乳頭裂破」．．．．．「梅師」〔梅師方〕
- ・⑩「妬乳乳痛」．．．．．「▲」〔梅師方〕
- ・⑪「癰疽惡肉」．．．．．「怪證奇方」
- ・⑫「香衣辟汗」．．．．．「多能鄙事」

○〔降真香〕○．．．．．〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.175）〕

・①「金瘡出血」・・・「医林」〔医林集要〕

・②「癰疽惡毒」・・・「集簡」〔集簡方〕

・▼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▼

・▼・『本草綱目』（卷四）「百病主治藥・下」からの記載・▼

〇〇〔赤腫〕・・・・〔『国訳本草綱目』（第二冊、p.323）〕・

・①【石斛】「同川芎、●〔口ヘンに畜〕鼻起倒睫」・・・  
 ・・・・「本草百病主治」

・上記の二項は、『本草綱目』（巻四）「百病主治薬・下」〔眼目〕からの記載である。

9

○ [烏葉] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.184)] .

【附方】 . . . . . (No.306) [2/11]

・ ① 「心腹気痛」 . . . . . 「集簡」 [集簡方]

・ ② 「小児慢驚」 . . . . . 「済急」 [済急方]

・ 『本草綱目』では、②、①の順番である。

○ [楓香脂] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.192)] .

○○ [木皮] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.196)] .

【附方】 . . . . . (No.306) [1/1]

・ ① 「大風瘡」 . . . . . 「経験」 [経験良方]

○ [熏陸香・乳香] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.197)] .

【附方】 . . . . . (No.306~307) [5/31]

・ ① 「陰證呃逆」 . . . . . 「蘊要」 [傷寒蘊要]

・ ② 「辟穰瘟疫」 . . . . . 「——」

・ ③ 「香口辟臭」 . . . . . 「摘玄」 [摘玄方]

・ ④ 「風虫牙痛」 . . . . . 「朱氏」

・ 「不可忍者・・」「朱氏集験方・・」の二文を省略し、「〔又方〕

乳香・・」の文のみを記載している。さらに、「直指方・・」

「聖恵方・・」の二文も省略している。

・ 出典を「朱氏」としているのは、「又方乳香・・」の文も「朱氏集験方」のものと解釈したのであろうか。

・ ⑤ 「杖瘡潰爛」 . . . . . 「永類」 [永類鈴方]

○ [騏驎竭] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.210)] .

【附方】 . . . . . (No.307) [4/12]

・ ① 「白虎風痛」 . . . . . 「聖恵」 [聖恵方]

・ ② 「新久脚氣」 . . . . . 「奇效」 [奇效方]

・ ③ 「腹中血塊」 . . . . . 「摘玄」 [摘玄方]

・ ④ 「鼻出衄血」 . . . . . 「医林」 [医林集要]

・『本草綱目』では、④、③の順番である。

○〔質汗〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.214）〕・

【附方】・・・・・・（No.307）〔1／1〕

・①「室女経閉」・・・・・・「聖濟」〔聖濟総録〕

○〔龍腦香〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.224）〕・

【附方】・・・・・・（No.307）〔6／14〕

・①「風熱喉痺」・・・・・・「集簡」〔集簡方〕

・末尾の「此陸一峯家伝絶妙方也」も原文のものである。

・②「鼻中息肉」・・・・・・「集簡」

・③「傷寒舌出」・・・・・・「夷堅志」

・④「中風牙噤」・・・・・・「——」

・⑤「牙齒疼痛」・・・・・・「▲」〔集簡方〕

・⑥「痘瘡狂躁」・・・・・・「経験方」

・後半の「総微論・・・」の文が省略されている。

○〔樟腦〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.233）〕・

【附方】・・・・・・（No.307）〔1／2〕

・①「牙齒虫痛」・・・・・・「——」

・「普濟方・・・」の文のみを記載し、後半の「余居士選奇方・・・」の文を省略している。

○〔盧會〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.242）〕・

【附方】・・・・・・（No.307）〔1／1〕

・①「小兒脾疳」・・・・・・「易簡」〔易簡方〕

---

## ●【考察2】●

・複数の解説文のある処方、省略されている文がある。

・『本草綱目』（巻四）「百病主治薬・下」〔眼目〕からの記載がある。

▼《Ⅲ.》▼

▼『本草綱目』卷三十五（上）「木部」・「木之二」（喬木類）より▼

○〔藥木〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.251）〕・

【附方】・・・・・・（No.308）〔7／43〕

- ・①「咽喉卒腫」・・・・・・「肘后」〔肘後方〕
- ・②「鬚毛毒瘡」・・・・・・「普濟」〔普濟方〕
- ・③「火毒生瘡」・・・・・・「医説」〔張杲医説〕
- ・④「凍瘡裂痛」・・・・・・「儒門」〔儒門事親〕
- ・⑤「自死肉毒」・・・・・・「肘后」〔肘後方〕
- ・⑥「斂瘡生肌」・・・・・・「宣明」〔宣明方〕
- ・⑦「下血数升」・・・・・・「普濟」

・『本草綱目』では、⑦が最初に出ている。

○〔厚木〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.267）〕・

【附方】・・・・・・（No.308）〔2／14〕

- ・①「反胃止瀉」・・・・・・「▲」〔斗門方〕
- ・②「中満洞瀉」・・・・・・「鮑氏」〔鮑氏方〕

○〔杜仲〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.275）〕・

【附方】・・・・・・（No.308）〔1／6〕

- ・①「頻慣墮胎」・・・・・・「簡便」〔簡便方〕

○〔漆〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.290）〕・

○○〔乾漆〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.292）〕・

【附方】・・・・・・（No.308）〔2／11〕

- ・①「喉痺欲絶」・・・・・・「▲」〔聖濟総録〕
- ・②「解中虫毒」・・・・・・「直指」〔直指方〕

- [楸] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.302) ] .
- [葉] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.304) ] .

【附方】 . . . . . (No.308~309) [4/8]

- ・ ① 「一切毒腫」 . . . . . 「范汪」 [范汪東陽方]
- ・ ② 「頭癢生瘡」 . . . . . 「聖恵」 [聖恵方]
- ・ ③ 「児髪不生」 . . . . . 「千金」 [千金方]
- ・ ④ 「小児禿瘡」 . . . . . 「聖恵」

- [桐] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.306) ] .
- [桐葉] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.310) ] .

【附方】 . . . . . (No.309) [3/4]

- ・ ① 「癰疽發背」 . . . . . 「医林」 [医林正宗]
- ・ ② 「髪落不生」 . . . . . 「肘后」 [肘後方]
- ・ ③ 「髪白染黒」 . . . . . 「普濟」 [普濟方]

- [罌子桐] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.314) ] .
- [桐子油] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.316) ] .

【附方】 . . . . . (No.309) [1/7]

- ・ ① 「解砒石毒」 . . . . . 「華佗危病」 [華佗危病方]
- . . . . .
- ・ ▼『本草綱目』では、ここに「○ [海桐] ○」 (後出) がある。▲
- . . . . .

- [棟] ○ . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.320) ] .
- [実] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.322) ] .

【附方】 . . . . . (No.309) [1/11]

- ・ ① 「丈夫疝氣」 . . . . . 「経験」 [経験方]

- [根・木皮] . . . . . [『国訳本草綱目』 (第九冊、p.326) ] .

【附方】・・・・・・（No.309）〔1／10〕

・①「小兒蚘虫」・・・・・・「――」

・最初文とその次の「斗門方・・」を省略し、三番目の「集簡方・・」のみを記載している。その次の「経験方・・」、「簡便方・・」の文も省略している。

○〔槐〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.328）〕・

○○〔槐実〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.330）〕・

【附方】・・・・・・（No.309）〔1／5〕

・①「槐角丸」・・・・・・「局方」〔和剤局方〕

▼・・・・〔▼・この項、次の「○〔海桐〕○」の後に続く。〕・・・・▲

・・・・・・  
○〔海桐〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.317）〕・

○○〔木皮〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.319）〕・

▼・この項は、「○〔罌子桐〕○」（前出）のすぐ後にあるもの。▲

【附方】・・・・・・（No.309）〔1／3〕

・①「風虫牙痛」・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

・・・・・・  
○〔槐〕○〔▼続き〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.328）〕・

○○〔槐花〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.333）〕・

【附方】・・・・・・（No.309～310）〔3／21〕

・①「中風失音」〔「癰疽発背」〕・・・・・・「保寿」〔保寿堂方〕

・ここにある「中風失音」の解説文は、次にある「癰疽発背」のものである。大きな記載ミスである。

・②「外痔長寸」・・・・・・「集簡」〔集簡方〕

・③「発背散血」・・・・・・「摂生」〔摂生妙用方〕

〇〇〔枝〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.336）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.310）〔1／6〕

・①「陰瘡湿痒」・・・・・・・・「孟詵」〔孟詵必效方〕

---

●【考察3】●

- ・複数の解説文のあるもので、文の省略がある。
  - ・処方の順番の異動がみられる。
  - ・上に指摘したような大きな記載ミスもある。
- 

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼《IV.》▼

▼『本草綱目』卷三十五（下）「木部」・・「木之二」（喬木類）より▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○〔秦皮〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.343）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.310）〔2／6〕

- ・①「赤眼生翳」・・・・・・・・「外台」〔外台秘要〕
- ・②「天蛇毒瘡」・・・・・・・・「宗奭本草」〔寇宗奭本草〕

○〔合欬〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.348）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.310）〔2／5〕

- ・①「撲損折骨」・・・・・・・・「百一」〔百一選方〕
- ・②「肺癰唾濁」・・・・・・・・「独行」〔韋宙独行方〕

・『本草綱目』では、②、①の順番である。

○〔皂莢〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.351）〕・

〇〇〔皂莢〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.354）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.310～311）〔9／50〕

- ・①「中風口喎」・・・・・・・・「外台」〔外台秘要〕
- ・②「中暑不省」・・・・・・・・「澹寮」〔澹寮方〕
- ・③「鬼魘不寤」・・・・・・・・「千金」〔千金方〕

- ・④「自縊将死」・・・・・・・・「外一〔台〕」〔外一〔台〕方〕
- ・⑤「水溺卒死」・・・・・・・・「外一〔台〕」〔外一〔台〕秘要〕
- ・⑥「急喉痺塞」・・・・・・・・「——」
- ・⑦「咽喉腫痛」・・・・・・・・「聖濟」〔聖濟総録〕
- ・⑧「一切痰氣」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・⑨「小兒頭瘡」・・・・・・・・「雜典〔興〕」〔衛生雜典〔興〕〕

〇〇〔子〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.363）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.311）〔3／14〕

- ・①「下痢不止」・・・・・・・・「摘要」〔医方摘要〕
- ・②「粉滓面●〔黒へんに干〕」・・・・「聖恵」〔聖恵方〕
- ・③「年久瘰癧」・・・・・・・・「——」

・末尾の小文字部分「聖濟総録・・」の文も原文のものである。

〇〇〔刺〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.366）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.311）〔3／12〕

- ・①「婦人乳癰」・・・・・・・・〔直指方〕

・出典として、「補遺」〔熊氏補遺〕とあるが、これはこの処方  
前にある「胎衣不下」のものであり、「直指方」が正しい。

- ・②「乳汁結毒」・・・・・・・・「袖珍」〔袖珍方〕
- ・③「腹内生瘡」・・・・・・・・「経験」〔経験方〕

〇〔肥皂莢〕〇・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.370）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.311）〔3／9〕

- ・①「頭耳諸瘡」・・・・・・・・〔摘玄方〕

・出典として、「海上」〔海上方〕とあるが、これはこの処方  
次にある「小兒頭瘡」のものであり、「摘玄方」が正しい。

- ・②「癬瘡不愈」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・③「玉茎湿癢」・・・・・・・・「摂生」〔摂生方〕

〇〔無患子〕〇・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.373）〕・

〇〇〔子皮〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.375）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.311）〔1／2〕

・①「洗面去●〔黒へんに干〕」・・・「集簡」〔集簡方〕

〇〇〔子中仁〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.376）〕・

【附方】・・・（No.311）〔1／1〕

・①「牙齒腫痛」・・・「普濟」〔普濟方〕

〇〔無食子〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.377）〕・

【附方】・・・（No.311）〔1／8〕

・①「鼻面酒皰」・・・「危氏」〔危氏得效方〕

〇〔訶黎勒〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.380）〕・

【附方】・・・（No.311）〔1／15〕

・①「水瀉下痢」・・・「聖恵」〔聖恵方〕

〇〔櫟〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.389）〕・

〇〇〔木皮〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.390）〕・

【附方】・・・（No.312）〔1／5〕

・①「通身水腫」・・・「聖恵」〔聖恵方〕

〇〔柳〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.392）〕・

〇〇〔柳華〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.394）〕・

【附方】・・・（No.312）〔2／6〕

・①「吐血咯血」・・・「経験」〔経験方〕

・②「金瘡出血」・・・「外台」〔外台秘要〕

〇〇〔葉〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.396）〕・

【附方】・・・（No.312）〔1／6〕

・①「眉毛脱落」・・・「聖恵」〔聖恵方〕

〇〇〔枝・根白皮〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.397）〕・

【附方】・・・（No.312）〔7／18〕

- ・①「走注氣痛」・・・「集驗」〔集驗方〕
- ・②「風毒卒腫」・・・「集驗」
- ・③「陰卒腫痛」・・・「集驗」
- ・④「項下癭氣」・・・「范汪」〔范汪方〕
- ・⑤「齒齲腫痛」・・・「聖惠」〔聖惠方〕
- ・⑥「耳痛有膿」・・・「斗門」〔斗門方〕
- ・⑦「漏瘡腫痛」・・・「——」

・後半の「摘玄方・・・」の文を省略している。

〇〔水楊〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.404）〕・

〇〇〔木白皮・根〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.407）〕・

【附方】・・・（No.312）〔1／1〕

- ・①「金瘡苦痛」・・・「千金」〔千金方〕

〇〔白楊〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.407）〕・

〇〇〔枝〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.410）〕・

【附方】・・・（No.312）〔1／3〕

- ・①「面色不白」・・・「聖惠」〔聖惠方〕

〇〔榆〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.415）〕・

〇〇〔白皮〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.410）〕・

【附方】・・・（No.312～313）〔9／18〕

- ・①「斷穀不饑」・・・「救荒」〔救荒本草〕
- ・②「虛勞白濁」・・・「千金」〔千金方〕
- ・③「小便氣淋」・・・「普濟」〔普濟方〕
- ・④「五淋洪痛」・・・「普濟」
- ・⑤「身体暴腫」・・・「備急」〔備急方〕
- ・⑥「臨月易産」・・・「陳承」〔陳承本草別説〕

- ・⑦「墮胎下血」・・・「普濟」
- ・⑧「胎死腹中」・・・「子母」〔子母秘録〕
- ・⑨「五色丹毒」・・・「千金」〔千金〔方〕〕

○〔燕薹〕○・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.422）〕・

【附方】・・・（No.313）〔3／10〕

- ・①「制殺諸虫」・・・「本事」〔本事方〕
- ・②「小兒虫痛」・・・「杜壬」〔杜壬方〕
- ・③「虫牙作痛」・・・「危氏」〔危氏得效方〕

○〔蘇方木〕○・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.427）〕・

【附方】・・・（No.313）〔4／6〕

- ・①「産後血運」・・・「——」
- ・②「産後氣喘」・・・「胡氏」〔胡氏方〕
- ・③「破傷風病」・・・「普濟」〔普濟方〕
- ・④「金瘡接指」・・・「撰生」〔撰生方〕

○〔樺木〕○・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.432）〕・

【附方】・・・（No.313）〔2／5〕

- ・①「乳癰初発」・・・「靈苑」〔靈苑方〕
- ・②「染黒鬚髮」・・・「多能」〔多能鄙事〕

○〔巴豆〕○・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.445）〕・

【附方】・・・（No.313～314）〔8／39〕

- ・①「乾霍乱病」・・・「——」
- ・②「二便不通」・・・「▲」〔楊氏家藏〕
- ・③「傷寒舌出」・・・「普濟」〔普濟方〕
- ・④「中風口喎」・・・「聖恵」〔聖恵方〕
- ・⑤「荷錢癬瘡」・・・「経験」〔経験方〕
- ・⑥「疣痣黒子」・・・「怪症」〔怪症方〕
- ・⑦「箭鏃入肉」・・・「経験」
- ・⑧「小兒痰喘」・・・「医鑑」〔龔氏医鑑〕

○〔大風子〕○・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.460）〕・

【附方】・・・・・・（No.314）〔3／5〕

- ・①「大風瘡裂」・・・・・・「衛生」〔衛生方〕
- ・②「楊梅惡瘡」・・・・・・「衛生」
- ・③「風刺赤鼻」・・・・・・「——」

○〔相思子〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.463）〕・

【附方】・・・・・・（No.314）〔1／3〕

- ・①「瘡癰寒熱」・・・・・・「千金」〔千金〔方〕〕
- 

●【考察4】●

- ・処方 of 順序の異動や転記ミス、また解説文の省略がみられる。
- 

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼《V.》▼

▼『本草綱目』卷三十六「木部」・・・「木之三」（灌木類）より▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○〔桑〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.467）〕・

○○〔桑根白皮〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.468）〕・

【附方】・・・・・・（No.314）〔1／14〕

- ・①「小兒天弔」・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

○○〔桑椹〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.473）〕・

【附方】・・・・・・（No.314）〔2／7〕

- ・①「抜白変黒」・・・・・・「蔵器」〔陳蔵器本草〕
- ・②「髪白不生」・・・・・・「千金」〔千金方〕

〇〇〔葉〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.476）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.314～315）〔2／13〕

- ・①「手足麻木」・・・・・・・・「救急」〔救急方〕
- ・②「湯火傷瘡」・・・・・・・・「正伝」〔医学正伝〕

・『本草綱目』では、②、①の順番である。

〇〇〔枝〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.478）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.315）〔2／6〕

- ・①「風熱臂痛」・・・・・・・・「本事」〔本事方〕
- ・②「紫白癰風」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

〇〇〔桑柴灰〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.481）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.315）〔3／12〕

- ・①「白癰駁風」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕
- ・②「金瘡作痛」・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕
- ・③「頭風白屑」・・・・・・・・「聖恵」

〇〔楮〕〇・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.487）〕・

〇〇〔葉〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.493）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.315）〔8／17〕

- ・①「通身水腫」・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕
- ・②「人耽睡臥」・・・・・・・・「楊堯輔方」
- ・③「吐血鼻血」・・・・・・・・「聖恵」
- ・④「一切眼翳」・・・・・・・・「聖恵」
- ・⑤「疝氣入囊」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・⑥「癬瘡湿痒」・・・・・・・・「聖恵」
- ・⑦「痔瘻腫痛」・・・・・・・・「集簡」〔集簡方〕
- ・⑧「魚骨硬咽」・・・・・・・・「十便」〔十便良方〕

〇〇〔樹白皮〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.495）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.315）〔2／7〕

・①〔「魚骨硬咽」〕・・・・・・・・・・「衛生易簡〔方〕」

・前項⑧「魚骨硬咽」の後に「衛生易簡・・・」として、記載されている。同名の処方のため、そこに記載されたものと思われる。

・②「膀胱石水」・・・・・・・・・・「集驗」

・『本草綱目』では、②、①の順番である。

○〔枳〕○・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.497）〕・

○○〔枳実〕・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.500）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.316）〔3／13〕

・①「傷寒胸痛」・・・・・・・・・・「斂子」〔斂子礼济生方〕

・②「大便不通」・・・・・・・・・・「危氏」〔危氏得效方〕

・③「小兒頭瘡」・・・・・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

○○〔枳殼〕・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.503）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.316）〔6／18〕

・①「順氣止痢」・・・・・・・・・・「百問」〔婴童百問〕

・②「疏導脚氣」・・・・・・・・・・「直指」〔直指方〕

・③「痔瘡腫痛」・・・・・・・・・・「——」

・④「産後腸出」・・・・・・・・・・「袖珍」〔袖珍方〕

・⑤「下早成痞」・・・・・・・・・・「宣明」〔宣明方〕

・⑥「脇骨疼痛」・・・・・・・・・・「本事」〔本事方〕

○〔枸橘〕○・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.510）〕・

○○〔葉〕・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.511）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.316）〔1／1〕

・①「咽喉怪證」・・・・・・・・・・「夏子益」〔夏子益奇病方〕

○〔卮子〕○・・・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.512）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.316～317）〔10／27〕

・①「鼻中衄血」・・・・・・・・・・「易簡」〔易簡方〕

・②「臨産下痢」・・・・・・・・・・「勝金」〔勝金方〕

・③「胃脘火痛」・・・・・・・・・・「纂要」〔丹溪纂要〕

・④「熱病食復」・・・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕

- ・⑤「喫飲〔飯〕直出」・・・・・・・・「怪證」〔怪證奇方〕
- ・⑥「鼻上酒皰」・・・・・・・・「本事」〔本事方〕
- ・⑦「眉中練癬」・・・・・・・・「保幼」〔保幼大全〕
- ・⑧「折傷腫痛」・・・・・・・・「集簡」〔集簡方〕
- ・⑨「獠犬咬傷」・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕
- ・⑩「湯盪火燒」・・・・・・・・「救急」〔救急方〕

○〔酸棗〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.520）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.317）〔2／7〕

- ・①「睡中汗出」・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・②「刺入肉中」・・・・・・・・「外台」〔外台秘要〕

○〔白棘〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.526）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.317）〔1／12〕

- ・①「眼睫拳毛」・・・・・・・・「普濟」〔普濟方〕

○〔山茱萸〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.533）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.317）〔1／1〕

- ・①「草還丹」・・・・・・・・「扶寿」〔扶寿方〕

○〔郁李〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.544）〕・

○○〔核仁〕・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.546）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.317）〔2／6〕

- ・①「腫満気急」・・・・・・・・「楊氏」〔楊氏産乳〕
- ・②「脚気浮腫」・・・・・・・・「韋宙」〔韋宙独行方〕

○〔衛矛〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.561）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.317）〔1／2〕

- ・①「鬼瘡日発」・・・・・・・・「聖濟」〔聖濟総録〕

○〔南燭〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.568）〕・

【附方】・・・・・・（No.317）〔1／2〕

・①「誤吞銅鉄」・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

○〔五加〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.572）〕・

【附方】・・・・・・（No.317）〔1／8〕

・①「小児行遅」・・・・・・「全幼」〔全幼心鑑〕

○〔枸杞・地骨皮〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.579）〕・

○○〔枸杞子〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.586）〕・

【附方】・・・・・・（No.318）〔4／29〕

・①「口舌糜爛」・・・・・・「蘭室」〔蘭室秘蔵〕

・②「男子下疳」・・・・・・「衛生」〔衛生宝鑑〕

・③「婦人陰腫」・・・・・・「永類」〔永類方〕

・④「澡浴除病」・・・・・・「洞天保生録」

○〔石南〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.598）〕・

【附方】・・・・・・（No.318）〔1／3〕

・①「小児通睛」・・・・・・「普濟」〔普濟方〕

○〔蔓荊〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.611）〕・

○○〔実〕・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.613）〕・

【附方】・・・・・・（No.318）〔3／〔3〕〕

・①「令髮長黒」・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

・②「頭風作痛」・・・・・・「千金」〔千金方〕

・③「乳癰初起」・・・・・・「危氏」〔危氏得效方〕

○〔木槿〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.621）〕・

〇〇〔皮・根〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.622）〕・

【附方】・・・（No.318～319）〔6／6〕

- ・①「赤白帶下」・・・「纂要」〔纂要奇方〕
- ・②「頭面錢癬」・・・「経效」〔経效方〕
- ・③「牛皮風癬」・・・「扶寿」〔扶寿方〕
- ・④「癬瘡有虫」・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・⑤「痔瘡腫痛」・・・「直指」〔直指方〕
- ・⑥「大腸脱肛」・・・「救急」〔救急方〕

〇〇〔花〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.624）〕・

【附方】・・・（No.319）〔2／3〕

- ・①「下痢噤口」・・・「济急」〔济急方〕
- ・②「反胃吐食」・・・「袖珍」〔袖珍方〕

〇〔木芙蓉〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.626）〕・

【附方】・・・（No.319）〔5／10〕

- ・①「赤眼腫痛」・・・「▲」〔鴻飛集〕
- ・②「癰疽腫毒」・・・「▲」〔簡便方〕
- ・③「頭上癩瘡」・・・〔傳滋医学集成〕

・出典のところに、「奇効」とあるのは、転記ミスである。

- ・④「灸瘡不愈」・・・「奇効」〔奇効方〕
- ・⑤「一切瘡腫」・・・「多能」〔多能鄙事〕

〇〔密蒙花〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.634）〕・

【附方】・・・（No.319）〔1／1〕

- ・①「目中障翳」・・・「聖濟」〔聖濟總録〕

〇〔木天蓼〕〇・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.644）〕・

〇〇〔枝葉〕・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.646）〕・

【附方】・・・・・・（No.319）〔1／1〕

・①「大風白癩」・・・・・・「聖恵」〔聖恵方〕

○〔接骨木〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.649）〕・

【附方】・・・・・・（No.319）〔1／2〕

・①「産後血運」・・・・・・「産書」

---

●【考察5】●

- ・処方の順番の異動や転記ミスもあるが、原文どおりの記載内容である。
- ・同名の2処方を、一つにまとめて記載しているところがあった。

---

▼《VI-A.》▼

▼『本草綱目』卷三十七「木部」・・・・「木之四」（寓木類）より▼

○〔茯苓〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.655）〕・

【附方】・・・・・・（No.320）〔5／31〕

- ・①「妊娠水腫」・・・・・・「禹講師方」
- ・②「卒然耳聾」・・・・・・「普濟」〔普濟方〕
- ・③「面●〔黒ヘンに干〕雀斑」・・「集驗」〔集驗方〕
- ・④「痔漏神方」・・・・・・「集驗」
- ・⑤「水腫尿瀦」・・・・・・「普濟」

○〔琥珀〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.671）〕・

【附方】・・・・・・（No.320）〔4／9〕

- ・①「琥珀散」・・・・・・「海藥」〔海藥本草〕
- ・②「小便尿血」・・・・・・「直指」〔直指方〕
- ・③「從高墜下」・・・・・・「外台」〔外台秘要〕
- ・④「金瘡悶絶」・・・・・・「鬼遺」〔鬼遺方〕

○〔猪苓〕○・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.679）〕・

【附方】・・・・・・（No.320）〔2／7〕

- ・①「通身腫満」・・・・・・・・「産乳」〔楊氏産乳〕
- ・②「妊娠腫渴」・・・・・・・・「子母」〔子母秘録〕

○〔雷丸〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.683）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.320）〔2／3〕

- ・①「小児出汗」・・・・・・・・「千金」〔千金方〕
- ・②「下寸白虫」・・・・・・・・「経験」〔経験方〕

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼《VI-B.》▼

▼『本草綱目』卷三十七「木部」・・・・「木之五」（苞木類）より▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○〔竹〕○・・・・・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.699）〕・

○○〔苦竹根〕・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.705）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.321）〔1／1〕

- ・①「産後煩熱」・・・・・・・・「良方」〔婦人良方〕

○○〔筴竹茹〕・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.705）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.321）〔3／10〕

- ・①「婦人損胎」・・・・・・・・「子母」〔子母秘録〕
- ・②「牙齒宣露」・・・・・・・・「永類」〔永類方〕
- ・③「飲酒頭痛」・・・・・・・・「千金」〔千金方〕

○○〔慈竹瀝〕・・・・〔『国訳本草綱目』（第九冊、p.707）〕・

【附方】・・・・・・・・（No.321）〔10／21〕

- ・①「中風口噤」・・・・・・・・「千金」〔千金方〕
- ・②「小児口噤」・・・・・・・・「兵部手集」
- ・③「産後中風」・・・・・・・・「梅師」〔梅師方〕
- ・④「小児傷寒」・・・・・・・・「千金」

・全文に強調の傍線あり。

- ・⑤「小児重苦」・・・・・・・・・・「簡便」〔簡便方〕
- ・『本草綱目』では、⑤、④の順番である。
- ・⑥「小児狂語」・・・・・・・・・・「至宝」〔至宝方〕
- ・⑦「欬嗽肺痿」・・・・・・・・・・「兵部」〔兵部手集〕
- ・⑧「小児吻瘡」・・・・・・・・・・「心鑑」〔全幼心鑑〕
- ・⑨「小児赤目」・・・・・・・・・・「古今」〔古今録驗〕
- ・⑩「卒牙齒痛」・・・・・・・・・・「集驗」〔集驗方〕

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼《VI-C.》▼

▼『本草綱目』卷三十七「木部」・・・「木之六」（雜木類）より▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

▼・・・「この項からの記載はない。」・・・▼

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

●【考察6】●

- ・処方順番の異動などがあるが、原文どおりの記載内容である。

◎・むすび・◎

このたび、『真斎聚方』「本草之部 附方」の各処方が、『本草綱目』の各薬物の【附方】からの記載であることが判明したことにより、『真斎聚方』の全体的構成が、ここに初めて明らかになった。

そして、すでに述べたように、真斎は、『真斎聚方』「本草之部 附方」の各処方を、『本草綱目』の各薬物の【附方】の項から、基本的に「原文」そのままの内容で記載している。

それは、これまでの真斎の「筆写・抄出方法」を踏襲しているものである、と言えるであろう。各処方の抄出については、真斎の臨床家としての必要性から選ばれたものと思われる。

『真齋聚方』「本草之部 附方」もまた、『本草綱目』の各薬物の【附方】の項から臨床的に参考となる処方群を抄出して、臨床研究に役立てるということが目標であった。その「按文」の一つひとつの内容が、それを物語っている。

いずれにしても、『本草綱目』の各薬物の【附方】を、これほど多く記載した真齋の研究態度には、感服せざるを得ない。

以上は、「第1回目の考証」における「むすび」であり、私はこの時点で『真齋聚方』「本草之部 附方」の全体的な評価を急ぐ必要はないと思う。その全体的な評価は、今後、さらなる「考証と考察」を進めてからでも十分であろう。

上記の「むすび」については、今回の「第7回目の考証」においても基本的に変わりはないと言えるであろう。

その他については、各項の【考察】において述べたとおりである。

---

[2019年7月25日、PHN（思想・人間・自然）、第42号、PHNの会発行]

[2019年7月25日、和田耕作、Copyright(C)、無断転載厳禁、All rights reserved.]

---